

2018年4月4日(水)

関東教区諸教会・伝道所の皆様へ

熊本・大分地震から2年

4月16日を迎えるにあたって

日本基督教団関東教区 総会議長 東野尚志
災害対応支援委員会 飯塚拓也

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜びのです。

＜コリントの信徒への手紙一 12章26節＞

主のみ名を賛美いたします。

4月1日(日)に主の復活の日を迎え、復活の喜びの中を歩む日々となりました。

関東教区内諸教会・伝道所におかれましては、それぞれの地にあって福音宣教の業にあたってくださっていますことを感謝いたします。

さて、来る2018年4月16日(月)には、熊本・大分地震発生から2年を迎えることとなります。

被災地においては、避難所は閉鎖され仮設住宅へと被災された方々の生活の場が移りましたが、未だ復興の入り口にもたどり着くことのできない方々が多くいらっしゃいます。東日本大震災による被災においてもそうですが、社会的格差が、被災の事態においてはより一層となる現実を知らされます。

そんな中で、日本基督教団九州教区は、在日大韓基督教会と連携して、ボランティアセンター・エルピス熊本を設立し、金聖孝牧師がセンター長として仮設住宅での生活支援に取り組んでくださっています。

また、15の被災教会の再建では、再建・補修が完了した8教会と、再建・補修の途上にある2教会のほか、再建・補修の目途が未だ立たない教会が5教会に上るとのことです。

4月16日(月)を迎えるにあたり、被災地・被災教会に思いを寄せ、祈りを共にしていただきたくよろしくお願いたします。被災の出来事を風化させることのないよう、覚えて祈りましょう。

九州教区梅崎浩二総会議長より、『九州教区より、関東教区の皆様へ』のメッセージをいただきました。

また、同日午後2時より開催される記念の礼拝の案内もいただきましたので、同封いたします。

4月15日(日)の各教会の礼拝において、熊本・大分地震からの復興を覚え祈ってくださるようお願いいたします。

私たち関東教区は、去る第67回関東教区総会において、日本基督教団が取り組んでいる「熊本・大分地震被災教会会堂等再建支援募金」(目標額1億8千万円)に関して、関東教区として総額2千万円を目標に取り組むことを可決しました。

現時点での献金累積額は、3月31日時点として、目標額1億8千万円に対して1億2,426万5,935円となっており、その内関東教区は、10,410,415円となっています。

関東教区としては、目標額の半分まで達成していることとなります。厳しい財政状況の中でのご協力をありがとうございます。そして、目標を達成するために、どうかよろしくお願いたします。

なお、この献金は直接教団に送金をお願いしています。振込先は以下の通りです。

■振込先 口座番号 00120-5-587660 口座名 日本基督教団熊本大分教会再建

関東教区は、「新潟・福島豪雨水害」(2004年7月13日)、「新潟県中越地震」(2004年10月23日)、「新潟県中越沖地震」(2007年7月16日)、「東日本大震災」(2011年3月11日)、そして「関東東北豪雨」(2015年9月9日～11日)と自然災害を受けてきましたが、その度に国内外から多くの祈りと支援をいただきました。私たちは実に多くをいただきましたから、その感謝を同じように災害に苦しむ方々への連帯につなげたいと思います。

主に在りて。